物理系薬学部会総会

日時：平成30年3月26日（月）11:50～12:50
場所：J会場（金沢ホテル2階「ダイヤモンドC」）

報告
1. 平成29年度活動報告
2. 平成29年度決算報告

議案
1. 平成30年度役員
2. 平成30年度活動予定
3. 平成30年度奨励賞
4. 平成30年度学術集会
5. 平成30年度予算
6. 奨励賞規定の改定
7. 薬学研究奨励財団への研究助成金の応募
安井裕之先生（京薬大）

8. その他

1） 第10回　国際ペプチドシンポジウム
2018年12月3日~7日　ロームシアター京都、みやこめっせ（京都府京都市）
松崎 勝巳先生（京大院薬）

2）コアカリキュラム改訂に関して

平成29年度活動報告（1）

1. 総会の開催
2017.3.27　B会場　（仙台国際センター 会議棟 2F 橘）

2. 奨励賞の授与
東京理大薬　小川　祥二郎氏
慶応大薬　蛭田 勇樹氏
神戸薬大　佐野　紘平氏

3. メールマガジンの発行
物理系薬学部会ニュース[15]

4. 学術集会の開催

平成29年度活動報告(2)

1. 第3回物理系薬学部会シンポジウム
   2017年3月27日　仙台国際センター
   オーガナイザー　大江知行(東北大院薬)、嶋田一夫(東大院薬)
   参加者:約130 名
2. 第27回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (SRM2017)
   2017年6月16・17日　東京理科大学 神楽坂キャンパス
   実行委員長　青木　伸(東京理大薬)　参加者:110 名(+946円)

3. 第30回バイオメディカル分析科学シンポジウム (BMAS2017)
   2017年8月28・29日　東京大学 本郷キャンパス 薬学系総合研究棟講堂　他
   実行委員長　船津高志(東大院薬)　参加者:214 名(+ 693,182円)

4. 第15回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム (PPF2017)
   2017年9月4・5日　石川県青少年総合研修センター
   実行委員長　小川数馬(金沢大新学術)　参加者:65 名(+ 103,469円)

5. 第39回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
   2017年10月26・27日　金沢商工会議所会館
   実行委員長　玉井郁巳(金沢大院薬)参加者:154 名(+ 943円)

平成29年度決算報告(1)

収入の部　(単位:円)

科目 名称	科目 内訳	事業部門 学術集会 第30回バイオメディカル分析科学シンポジウム	事業部門 学術集会 第27回金属の関与する生体関連反応シンポジウム	事業部門 学術集会 第39回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム	事業部門 学術集会 第15回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファー	管理部門 委員会 部会役員会	管理部門 委員会 委員会	管理部門 その他の管理	合計
交付金等収入	−	200,000	200,000	200,000	500,000			500,000	1,600,000
	学術集会基金取崩								−
受取会費	部会一般会員								−
	部会学生会員								−
	部会法人会員								−
	部会非会員(一般)								−
	部会非会員(学生)								−
頒布収益	印税・頒布代								−
受取広告料	企業広告	1,760,400	30,000	479,600	150,000				2,420,000
	その他								−
受取参加登録料	会員	567,000	312,000	401,000	144,000				1,424,000
	学生会員	59,000	−	33,000	60,000				152,000
	非会員	494,000	174,000	361,000	124,000				1,153,000
受取懇親会参加登録料	−	549,000	370,000	500,000	172,000				1,591,000
受取補助金・助成金	−			120,000	200,000				320,000
受取寄付金	−			130,000					130,000
受取利息	預金等利息	5		1					6
その他雑収益	その他		315	100	146,000				146,415
収入合計 ①		3,629,405	1,086,315	2,224,701	1,496,000	−	−	500,000	8,936,421

平成29年度決算報告(2)

支出の部

科目 名称	科目 内訳	事業部門 学術集会 第30回バイオメディカル分析科学シンポジウム	事業部門 学術集会 第27回金属の関与する生体関連反応シンポジウム	事業部門 学術集会 第39回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム	事業部門 学術集会 第15回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファー	管理部門 委員会 部会役員会	管理部門 委員会 委員会	管理部門 その他の管理	合計
雑給	アルバイト料	573,000	260,000	261,800	306,000			18,000	1,418,800
	通勤手当		99,100						99,100
会議費	-	563,441	30,000	126,371				165,844	885,656
懇親会開催費	-	500,000	236,030	470,000	152,756				1,358,786
表彰費	表彰品		-					3,137	3,137
	副賞金		35,000	15,519	45,000			150,000	245,519
通信運搬費	郵便	3,524	36,000	29,414	20,372			1,092	90,402
	宅配便	1,520	872	1,369					3,761
消耗品費	事務用品	19,216	62,647	19,783	23,034			618	125,298
	試験法補助								-
	その他								-
印刷製本費	諸印刷	556,308	142,992	341,601	53,400				1,094,301
	コピー使用料								-
賃借料	会場費	40,000	-	429,216	96,240				565,456
諸謝金	講演謝金・旅費	149,067	111,370	321,079	142,959				724,475
	原稿料								-
	その他				8,850			1,296	10,146
支払手数料	振込手数料	2,160	324	1,496				4,320	8,300
	その他								-
業務委託費	-								-
雑費	-	527,987	71,034	206,110	543,920				1,349,051
支出合計 ②		2,936,223	1,085,369	2,223,758	1,392,531	-	-	344,307	7,982,188
収支差額③ (①-②)		693,182	946	943	103,469	-	-	155,693	954,233

平成29年度決算報告(3)

単位:円

事業名	交付金	事業収入	収入(合計)	支出(合計)
第27回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(SRM2017)	200,000	886,315	1,086,315	1,085,369
第30回バイオメディカル分析科学シンポジウム(BMAS2017)	200,000	3,429,405	3,629,405	2,936,223
第15回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム(PPF2017)	500,000	996,000	1,496,000	1,392,531
第39回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム	200,000	2,024,701	2,224,701	2,223,758
物理系薬学部会	500,000	0	500,000	344,307
合計	1,600,000	7,336,421	8,936,421	7,982,188

平成30年度役員（世話人）

部会長: 嶋田一夫（東大院薬）
副部会長: 飯田靖彦（鈴鹿医療大薬）
庶務幹事: 安井　裕之（京都薬大）
ブロック推薦世話人
北海道・東北　小川美香子（北大院薬）
関東　柳田 顕郎（東京薬科大薬・新）　横山英志（東京理科大薬・新）　合田浩明（昭和大薬）
北陸・東海　橋本　博（静岡県立大院薬・新）
近畿　北原　亮（立命館大薬・新）　鈴木茂生（近畿大薬）
中国・四国　山下敦子（岡山大薬）
九州　吉田秀幸（福岡大薬・新）

分野調整枠世話人（放射系）
秋澤宏行（昭和薬大）

拡大世話人
第28回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2018）：中林孝和（東北大院薬）
第31回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2018）：浜瀬健司（九大院薬）
第16回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2018）：藤間祥子（東大院薬）
第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム：青木淳賢（東北大院薬）

若手世話人
小川数馬（金沢大新学術）、岸川直哉（長崎大院医歯薬）、角田　誠（東大院薬）、
轟木堅一郎（静岡県大薬）、長瀬健一（慶応大薬・新）、吉田卓也（阪大院薬）、渡邊裕之（京大院薬）

部会長・副部会長・部会世話人・若手世話人

1. 世話人会は、部会長(議長)、副部会長、庶務幹事およびブロック推薦の世話人で構成し、年度の各シンポジウムの実行委員長は拡大世話人として必要に応じて参加する。
2. ブロック推薦の世話人は、北海道・東北（1）、関東（3）、北陸・東海（1）、近畿（2）、中国・四国（1）、九州（1）の各地区および分野調整枠（1）から括弧内の数だけ選出する。
   ブロック推薦の世話人の後任は、前任者が所属のブロックの中から推薦するが、推薦が無い場合は、部会長が推薦する。
3. 世話人の任期は2年とする。ただし、ブロック推薦の世話人のうち、約半分を毎年新メンバーとする。また、各シンポジウムの実行委員長の任期は1年とする。
4. フィジカル・ファーマフォーラム担当の数名の若手世話人をおく。
5. 部会長は、分析化学、物理化学、無機・放射化学（2巡で1回）の順で選出する。任期は2年とする。
6. 副部会長は、各担当分野から原則選挙で選ばれた次次期部会長（次期副部会長）候補者を世話人会で承認する。任期は2年とする。
7. 副部会長は、次期部会長となる。

平成30年度に、分析分野で平成33, 34年度の部会長を選出

平成33・34年度部会長の選出

部会長の選出方法

教授職を担っている分析化学系会員の中から選挙にて選出する。但し、部会長経験者を除く。

→候補者リストから1名に投票し、決定する。

これまでの部会長

H21-22　佐治(無機・放射)
H23-24　升島(分析)
H25-26　松崎(物理化学)
H27-28　萩中(分析)
H29-30　嶋田(物理化学)
H31-32　飯田(無機・放射)

H33-34　未定(分析)

平成30年度活動予定

1. 総会
2. 奨励賞の授与、平成31年度奨励賞の選考
3. メールマガジンの発行
4. 学術集会の開催
5. 委員会活動
   研究委員会
   ・物理系薬学研究の活性化
   教育委員会
   ・物理系薬学教育の充実

＜ご要望は部会長まで＞

奨励賞規程

・部会奨励賞を設け、毎年、若干名に授与する。応募資格は、下記の通りとする。

・受賞年度の4月1日 に満38歳未満で、物理系薬学部会員でありかつ3年以上継続して薬学会員である者。

・その業績の一部を、薬学会年会、薬学会支部大会あるいは物理系薬学部会シンポジウムで発表した者。

・審査は書類審査とし、部会世話人（ただし、部会長、拡大世話人および若手世話人を除く）が行い、部会長が承認する。ただし、部会世話人が候補者と共同研究を行うなど利益関係にある場合は、当該世話人は選考には加わらない。

・薬学会奨励賞受賞者および当該年度の薬学会奨励賞受賞候補者は授賞対象から除外する。

・支部奨励賞を含む薬学会の各賞受賞者で、その授賞対象の主要部分が同一の場合は授賞対象から除外する。

平成30年度奨励賞

- 岩崎雄介(星薬科大学)

「不安定な生理活性物質を対象とした高感度分析法の開発」

- 前川正充(東北大学病院)

「尿中抱合型コレステロール代謝物のLC/ESI-MS/MS分析による代謝異常疾患の診断マーカー探索」

平成30年度学術集会の開催・開催予定

1. 第4回物理系薬学部会シンポジウム
   2018年3月26日　金沢ホテル
   オーガナイザー　　飯田靖彦（鈴鹿医療大薬）

2. 第28回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2018）
   2018年6月29・30日　東北大学片平さくらホール
   実行委員長　　中林孝和(東北大院薬）

3. 第31回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2018）
   2018年8月28・29日　九州大学医系キャンパス　コラボステーション　他
   実行委員長　浜瀬健司（九州大院薬）

4. 第16回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2018）
   2018年9月3・4日　マホロバ•マインズ三浦
   実行委員長　藤間祥子(東京大院薬）

5. 第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
   2018年10月18・19日　東北大学萩ホール
   実行委員長　　青木淳賢（東北大院薬）

物理系薬学部会シンポジウム

・部会員が一堂に会し、研究・教育に関する情報を交換する場
（物理系薬学の教育・研究を展望するシンポジウムは解消）

・部会奨励賞の授賞式・受賞講演の場

・薬学会年会期間中に開催

・オーガナイザーは、年会の担当者および副部会長
（次年度は、青木　伸(東京理科大薬)と副部会長(未定)

平成30年度予算

単位：千円

事業名	交付金	事業収入	収入（合計）	支出（合計）
第28回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2018）	200	965	1,165	1,165
第31回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2018）	200	2,600	2,800	2,800
第16回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2018）	500	735	1,235	1,235
第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム	200	1,730	1,930	1,930
物理系薬学部会	500	0	500	500
合計	1,600	6,030	7,630	7,630

奨励賞規程(改定案)

・部会奨励賞を設け、毎年、若干名に授与する。応募資格は、下記の通りとする。

・ 受賞年度の4月1日 に満38歳未満で博士の学位を有する者。物理系薬学部会員でありかつ3年以上継続して薬学会員である者。

・その業績の一部を、薬学会年会、薬学会支部大会あるいは物理系薬学部会シンポジウムで発表した者。

・審査は書類審査とし、部会世話人（ただし、部会長、拡大世話人および若手世話人を除く）が行い、部会長が承認する。ただし、部会世話人が候補者と共同研究を行うなど利益関係にある場合は、当該世話人は選考には加わらない。

・薬学会奨励賞受賞者および当該年度の薬学会奨励賞受賞候補者は授賞対象から除外する。

・支部奨励賞を含む薬学会の各賞受賞者で、その授賞対象の主要部分が同一の場合は授賞対象から除外する。

議案

1. 平成30年度役員
2. 平成30年度活動予定
3. 平成30年度奨励賞
4. 平成30年度学術集会
5. 平成30年度予算
6. 奨励賞規定の改定
7. 薬学研究奨励財団への研究助成金の応募

安井裕之先生（京薬大）

8. その他

1） 第10回　国際ペプチドシンポジウム
2018年12月3日~7日　ロームシアター京都、みやこめっせ（京都府京都市）
松崎 勝巳先生（京大院薬）

2）コアカリキュラム改訂に関して

議案

1. 平成30年度役員
2. 平成30年度活動予定
3. 平成30年度奨励賞
4. 平成30年度学術集会
5. 平成30年度予算
6. 奨励賞規定の改定
7. 薬学研究奨励財団への研究助成金の応募

安井裕之先生（京薬大）

8. その他

1） 第10回　国際ペプチドシンポジウム
2018年12月3日~7日　ロームシアター京都、みやこめっせ（京都府京都市）
松崎 勝巳先生（京大院薬）

2）コアカリキュラム改訂に関して

議案

1. 平成30年度役員
2. 平成30年度活動予定
3. 平成30年度奨励賞
4. 平成30年度学術集会
5. 平成30年度予算
6. 奨励賞規定の改定
7. 薬学研究奨励財団への研究助成金の応募

安井裕之先生（京薬大）

8. その他

1） 第10回　国際ペプチドシンポジウム
2018年12月3日~7日　ロームシアター京都、みやこめっせ（京都府京都市）
松崎 勝巳先生（京大院薬）

2）コアカリキュラム改訂に関して